

学校における不祥事根絶に向けた取組について

教職員による不祥事の防止については、毎月実施しているコンプライアンス研修や面談等を活用した教職員の資質向上、注意喚起など、これまでもあらゆる機会を通じて徹底を図ってきたところです。

このたび、これまでの様々な取り組みの再確認とともに、今後のさらなる対応強化に向けて全教職員で「教職員による盗撮等の根絶に向けた研修」を実施し対応策について話し合いを行いました。

今後も、すべての教職員が、不祥事を自分事として捉え、自身の行為が教育全体に影響するということを強く意識し、不祥事ゼロに向けた取組を徹底してまいります。

令和6年8月27日

小美玉市立玉里学園義務教育学校 校長 水内 幸恵

「教職員による盗撮等の根絶に向けた研修(R6.7.19)」において、各ブロックから出た意見を掲載。

【スマホ、写真撮影】

- ・ 個人のスマホは、教室には持っていかない。(低学年)
- ・ 携帯電話を絶対に持ち歩かない。持ち歩いている職員を見かけたら声をかけ、注意喚起する。(8学年)
- ・ 個人のスマホで児童生徒を撮影しない。(低学年)
- ・ 児童生徒を撮影する際は、学校のカメラを使用する。(低学年)
- ・ 児童生徒が行う教育活動において、私物の携帯などを使用した撮影をしない。(7学年)
- ・ 写真を撮影する場合は、学校のSDカードを使用する。(8学年)
- ・ 私物のスマホ・カメラで子供の写真等を撮影しない。(9学年)

【行動】

- ・ 怪しい行動をしている人がいたら管理職に報告する。(低学年)
- ・ 校舎内で携帯電話の所持・使用をする等、勘違いされるような行動をとらない。(7学年)
- ・ 怪しい行動をしている職員がいたら、管理職に報告し、情報を共有する。(8学年)

【点検】

- ・ 普段と違う物が置かれているなどの環境の変化や、ちょっとした違和感にも注意を配る。(高学年)
- ・ 盗撮防止の視点をもって、複数の目で安全点検を行う。(高学年)
- ・ 下校後、教室、トイレ等の点検を行う。(高学年)
- ・ 毎月の安全点検の点検項目に「不審物の有無」の項目を入れる。(8学年)
- ・ 盗撮カメラが置かれやすい場所や更衣室を定期的に確認する。(8学年)
- ・ 日直や安全点検での見回りの強化(8学年)

【整理整頓】

- ・ 机上や担当教室の整理整頓を常に心がけ、不審なものがあればすぐに気が付くことができるようにする。(7学年)
- ・ 身の回りを常に整理整頓し、盗撮を疑われない環境を作る。(8学年)
- ・ 机上の整理整頓(8学年)
- ・ 児童生徒・教職員ともに整理整頓を心がけ、普段との違いにすぐに気づけるようにしていく。(8学年)
- ・ 荷物の整理整頓をして、カメラの隠し場所を作らない。(9学年)

【研修】

- ・ 自分はやらないと過信せず、研修等で学んだことを意識したり、同僚の先生方と共有したりしながら、学校生活や私生活を送る。(7学年)
- ・ 定期的実施しているコンプライアンス研修で、常に注意喚起をしていく。研修日以外でも、会議等で声掛けを行う。(8学年)

【行動】

- ・ 関係のないもの(撮影したデータ等)を校外に持っていかない。(低学年)
- ・ 同僚との声掛け、感情コントロールを意識する。(高学年)
- ・ 教職員全員が、お互いに信頼し合い、注意し合える環境は重要だが、その中でも、疑わしい行動には毅然とした態度でものを言える環境づくりが重要。(8学年)
- ・ 盗撮に限らず不祥事を起こすと自分だけでなく、同僚、家族、友人等多くの人に迷惑をかけてしまったり、今後の自分の生活が大きく変わってしまったりすることを認識して行動する。(8学年)
- ・ 児童生徒に対し一人の人として接し、自分で支配しようとする考えを持たない。もし、そういった考えや行動をするような教職員がいたら声をかけたり管理職に報告、相談したりする。(8学年)

【その他】

- ・ 児童生徒との良好な関係をつくり、不審物や変わったものがあつたりしたときには、すぐに情報が入るようにする。(8学年)
- ・ 不祥事を起こさない環境づくりとして、職員のストレスを減らすために、長時間勤務を減らす。プライベートを充実させる。(中学年)